

# ひまわり通信

## SSKS

### No.112



## 第十九回通常総会終了!

代表理事 隅 一 清

令和六年も早いもので、もう半年が過ぎようとしています。

当会の通常総会が開かれる、六月がやってきました。今年初めて、梅丘に出来た世田谷区立保健医療福祉総合プラザ『うめとびあ』で開くことになりました。

十時から、理事会を開催して総会の流れ等を打ち合わせしました。

十一時に、進行役の坂井氏より、議長に實井氏を任命して始まりました。

第一号議案の令和五年度事業報告から、第五号議案の令和六年度収支予算案までの議案を、すべて賛成多数で可決承認いただきました。

続いて、今年度の理事の紹介、来賓の紹介と続き、都議会議員の高久則男先生よりご祝辞を頂きました。

今回は、懇親会も同じ場所なので、外注した今年の『すき焼き弁当』を参加者全員で会食しました。

食事の合間に、實井氏が企画してくれた、『自閉症のピアノリスト』小柳拓人さんのピアノとフルートの演奏と、お母様の歌などが愉しませてくれました。

小柳さんは、二〇二一年東京オリンピックの聖火ランナーにも選ばれたので、その時の聖火用のトーチを持参してくれたので、宝物を手にかけることが出来ました。

令和六年度の総会、懇親会が無事に済んでホッとしています。

来年は、三〇周年になるので、記念事業や記念総会など忙しくなりそうです。

特に記念誌の発行は、寄稿を頂く方のリストアップや準備に時間が必要になります。

十五年、二十年、二十五年と滞りなく発行してきたので、三十周年も無事予定通り発行したいと考えています。

最近、寄る年波に逆らえず、娘の世話になることが多くなっているので心配です。

でも、昔からのことわざに『老いては子に従え』というのがあるので、安心していきます。本業の移送事業の方も、若いドライバーも加わり、順調に推移しています。年間の移送料も一千万円を超えて課税対象になってきました。当然、給料支給者には源泉所得税などが発生し何かと大変になってきます。でも、会が発展していく過程なので、仕方がないと考えています。今年も、あと半年！頑張っていきましょう！





## 第19回通常総会スナップ



### 令和6年度 役員名簿

代表理事	隅 一 清	(ひまわりの集い・移送事業総括)
副理事長	宇津木 雅 之	(車両整備担当)
理 事	加 藤 衛	(ひまわりの集い・書道教室担当)
	佐 藤 裕美子	(訪看みかん)
	實 井 茂 人	(サニー・けあサポート代表)
	梶 井 祐 子	(会計補佐・安全運転管理者)
	田 端 義 光	(利用者)
	坂 井 孝 次	(移送ドライバー)
	石 井 啓 子	(コーディネーター・会計)
監 事	樫 村 兌 子	(移送ドライバー)

【順不同】

### ひまわり句会 大谷のり子 選

子飼捨ふ枝や小石や水温む  
 武蔵野の片隅に生き春夕焼  
 残雪の富士を遠くに湯を沸かす  
 濡縁を濡らしてゐたる春の雨  
 手に乗せてみる落ちたばかりの椿

大谷のり子

春風や自転車に乗る米寿  
 海風や丘の裾から草萌えて  
 指宿の砂風呂温き春の昼  
 夏来るベツドの上のストレッチ  
 田水張る常磐道の朝ぼらけ

亀井歌子

蜜蜂の仕事休や菜種梅雨  
 シヤンパンの弾くる泡に春惜しむ  
 陽炎になりたし朝の風の中  
 聖五月全てを天に委ねけり  
 梅雨に入る忘却の川に若き日々

馬場保花

春一番波乱万丈傘寿なり  
 胡麻と海苔たつぷりかけて菜飯かな  
 桜餅塩の加減の良きごあひ  
 お花見の穴場巡りやバスに乗り  
 傘の骨むき出しとなる春嵐

藤田勝美

川べりを歩くひとりや鼓草  
 見上ぐれば大き蜂の巣木の上に  
 街中の穢れを流す春の雨  
 春の夢誰も出て来ずまた眠る  
 ところてん早く食べたしかまはず

羽山貴子



# 行事報告

## ◎四月帰りバス旅行

四月二十一日(日)

バスの旅も長距離だと疲れるので、近場に行こうとなり、鎌倉の大仏を見に行くことになりました。

前日の雨も上がって、天気にも恵まれ野沢を予定通りに出発して、第三京浜から横浜新道を通り大船観音を横に見ながら、大船フラワーセンターに寄りました。

色とりどりの春の花が咲き乱れている園内を散策してから、大仏に向かいました。

まず、大仏前の『味亭』で昼食を取り、参道に向かったのですが、行き交う人は外国人ばかりでした。

コロナ禍で、制限されていた観光客も元に戻ったようですが、こんな近場の観光地にも大勢来ているのに驚きました。

昼食場所も、分刻みで稼働しているのので、早めに行っても座ることも出来ない有様です。出てくる食事も、釜揚げしらすご飯の上に乗っているだけでした。私は毎朝、しらすおろしを食べているので、自宅で食べている感じでした。ビールを飲みながら、外を歩き交う人の波を見る余裕もないので、すぐに大仏へ向かいました。

大仏殿の前で記念写真を撮ってから、解散して自由に見学しました。

大仏様の横から中に入れるのですが、中は階段で狭くて我々老人には無理があるようです。

バスは鎌倉の街並みを抜けて、海岸線に出ると江の島を目指して海沿いをドライブ！サーファーの姿もちらほら、砂浜を散策している人も…。まだ、少し早いので寒い感じます。

江の島は、橋を渡って奥のヨットハーバーに向かいます。

本日は神社の入口の参道沿いの茶店で、サエのつば焼きを食べながら日本酒を飲みたいところですが、私はヨットハーバー近くの休憩所でコーヒーを飲んで帰路につきました。

参加者 二十五名



## ひまわりの集いのご案内

ひまわりの集いでは、次のような集まりをしています。

何も持たずに、気軽に参加してみてください。

作品は、十二月の世田谷フェスタ展で展示しています。

### ◎書道教室 加藤衛先生

実施日 第一第二金曜日

十三時半～十五時

### ◎俳句に親しむ会 大谷のり子先生

実施日 第二金曜日

十三時半～十六時

### ◎絵手紙教室 御代川道子先生

実施日 第三火曜日

十三時半～十六時

※いずれも、参加費は四百円です。送迎希望の方は、片道六百円です。



行事予定

◎暑気払い会

今年の暑気払い会は、目黒にある雅叙園のイタリアン、カノヴィアーノカフェで行います。暑い夏の一日を、優雅な気分でご飯とお酒を、愉しみたいと思います。

食事の前に、庭園と館内の装飾を鑑賞します。

- ・日時 八月十一日(日)十七時半〜食事
- ・参加費 一人 七千五百円(飲み放題付)

・参加希望の方は、七月三十日までにお申し込み下さい。送迎は無料です。

(年間予定表では、八月十八日の予定でしたが、変更になりました。)



◎九月はバス旅行等の行事はありません

◎十月一泊二日研修旅行

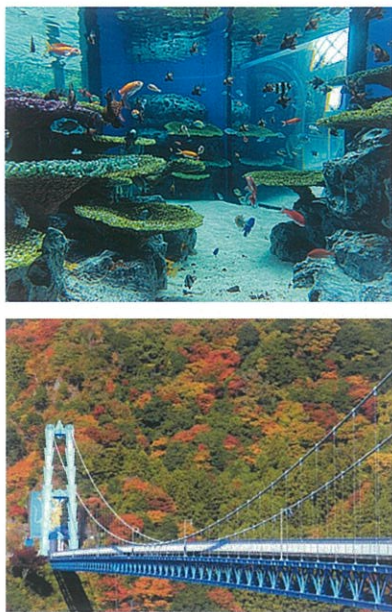
秋の研修旅行は、栃木の那珂川から茨城の竜神大つり橋を巡り、日立でお魚を食べます。

以前は温泉が育てた養殖のフグを夕食に出していましたが、今は温泉フグの養殖はしていないそうです。

- ・日時 十月十九日(土)〜二十日(日)
- ・行程 野沢九時出発  
野沢〜三軒茶屋〜首都高速〜川口JC〜東北自動車道〜羽生PA(休)〜上河内SA〜矢板IC〜道の駅ばとう(昼食)〜なががわ水遊園〜ながが和苑(泊)

・参加希望者は、8月末日までにお申し込み下さい。

- ・参加費 一人二万七千円(個別移送料千円)
- ・茶屋IC〜野沢



編集後記

世間では少子化時代を迎えていて、先祖代々守られてきた墓を守ってくれる子供が居ないので『墓じまい』が話題になっています。私は六人兄弟の長男なので、父親が健在だった頃に山口県から八王子に墓を移したので、先祖代々の墓を守っています。

先日、某宗教団体に入っていた弟が、この八王子の墓に入ると言ってきました。納骨費用として〇十万円置いて行きました。

今まで、一度も墓に行った事もなく、私の妻が亡くなった時も葬式でお坊さんがお経を読む時は、席を外していました。

そんな弟が、なんで心変わりしたのか解りませんが、奥さんの話では認知症が進んでいるとか…。

人生いろいろありますが、私もあと二年で九十歳になります。出来れば、静かに余生を送りたいところです…。(S記)

「ひまわり通信」112号

2024年7月22日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷

住 所 隅 一 清 世田谷区野沢3-4-18-102

T E X T 03-3487-5081

F A X 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会 世田谷区砦6-26-21 (定価100円)